

○ 委員長報告

9月定例会本会議で報告された経済企業委員長報告は、以下のとおりです。

令和2年9月定例会

経済企業委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、観光資源の魅力向上やプロモーションの強化についてであります。

このことについて一部の委員から、コロナ禍において関心が高まっているマイクロツーリズムをどのように推進していくのか。また、市町と連携した地域の魅力発信にどのように取り組んでいるのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、マイクロツーリズムの推進に当たっては、まずは県民の方々が地域の魅力を再発見するとともに、県内各地を繰り返し訪れたいと思える仕掛けづくりが必要と考えており、体験プログラムなど観光資源の磨き上げに加え、SNSやWeb広告等によるプロモーションに力を入れて取り組んでいる。

また、各市町の様々な観光スポットを取りまとめて、県の観光公式サイト「いよ観ネット」等で情報発信しており、各市町でも掲載情報の更新を可能とするなど、連携を図りながら、県内各地の魅力発信に努めている旨の答弁がありました。

第2点は、大手小売業者との連携協定についてであります。

このことについて一部の委員から、株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスとの協定締結に至った経緯はどうか。また、今後どう取組みを進めていくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、同社とは、以前から水産物等の取扱いや愛媛フェアの開催で協力関係にあり、海外展開を重視する方針の一致や、本県の豊富な県産品の魅力を同社に感じていただいたことなどから、今回の協定締結につながったものである。

今回の協定では、令和12年までに同社における県産品の海外取扱高を年間100億円にするという数値目標を掲げており、今後、同社の海外店舗における県産品の取扱い拡大や定期的なフェアの開催のほか、販売データ等に基づく輸出用新商品の開発や、海外での愛媛のPRなどの取組みを連携して行うことと

している旨の答弁がありました。

第3点は、新型コロナとインフルエンザの同時流行への対応についてであります。

このことについて一部の委員から、今後、新型コロナの発生に加え、インフルエンザの流行も心配であるが、県立病院においてどのような対策を考えているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、新型コロナウイルスの検査体制については、現在、各圏域において、地域のかかりつけ医などの身近な医療機関に直接相談・受診し、必要な検査に繋げる体制の構築が進められているところであるが、南宇和病院以外の3つの県立病院においては、近々導入する全自動PCR検査装置により、新型コロナウイルスを30分から40分と短時間で検出できるようになることから、救急患者等でインフルエンザか新型コロナウイルスかの鑑別が難しい患者に対しては、この検査装置を有効に活用して対応していきたいと考えている旨の答弁がありました。

このほか、

- ・サテライトオフィスの誘致
- ・新型コロナによる外国人技能実習生への影響
- ・工業用水道施設の漏水対応と耐震化
- ・次期県立病院中期経営戦略

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願1件については、願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。